

2024年度 第2四半期決算説明会

2024年11月8日

カナデビア株式会社

社名変更

2024年10月1日 日立造船から社名変更

カナデビア株式会社

(英文社名：Kanadevia Corporation)

Kanadevia

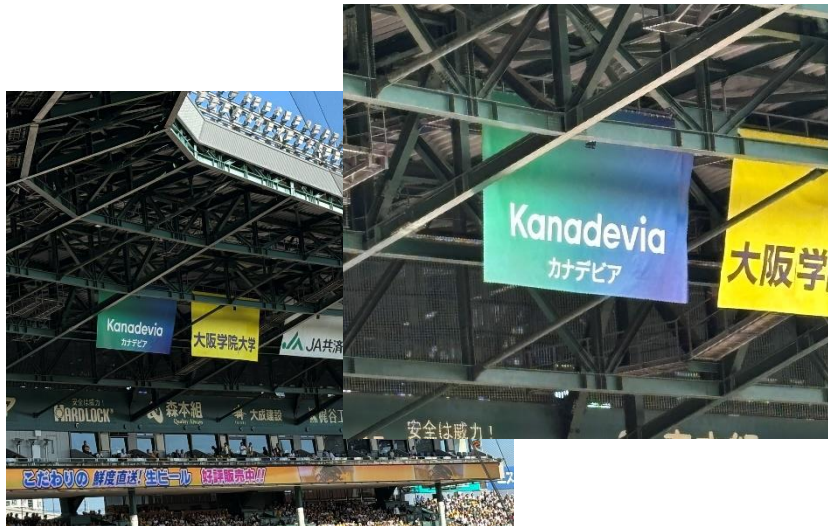
Kanaderu
(奏でる)

+

Via
(道・方法)

“技術の力で、人類と自然の調和に挑む”

社名変更



財務情報

2024年度 第2四半期決算 実績概況

- 第2四半期： 前年同期比増収・増益（営業利益）
- 通期見通し： 受注高・売上高見通しを上方修正

	2023年度		2024年度					
	1-2Q	通期	1-2Q		通期			進捗率 (a)/(b)
			実績(a)	前期比	期初	見通し(b)	前期比	
(億円)								
受注高	3,467	7,151	2,848	-619	6,200	6,800	-351	41.9%
売上高	2,321	5,558	2,699	378	5,700	5,900	342	45.7%
営業利益	11	243	31	20	260	260	17	11.9%
営業利益率	0.5%	4.4%	1.1%	—	4.6%	4.4%	—	—
営業外損益	8	13	-25	-33	-40	-40	-53	—
経常利益	19	256	6	-13	220	220	-36	2.7%
特別損益	-3	-16	—	3	—	29	45	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	3	189	-11	-14	160	180	-9	—
ROE		12.6%			9.5%	10.6%		
ROIC		7.4%			7.0%	7.0%		
1株当たりの配当		23円			23円	23円		

2024年度 第2四半期決算 営業外損益/特別損益

(億円)

		2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	比較
営業外損益	受取利息・支払利息など	3	4	1
	持分法による投資損益	10	-8	-18
	為替差損益	6	-3	-9
	その他営業外損益	-11	-18	-7
	営業外損益 計	8	-25	-33

(億円)

		2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	比較
特別損益	特別利益	-	-	-
	特別損失	-3	-	3
	特別損益 計	-3	-	3

2024年度 第2四半期決算 連結貸借対照表

(億円)

	2023年9月末	2024年3月末 (a)	2024年9月末 (b)	比較 (b)-(a)
現金及び預金 (A)	852	716	600	- 116
営業資産	1,834	2,547	1,913	- 634
受取手形、売掛金及び契約資産	1,582	2,348	1,628	- 720
棚卸資産	252	199	285	86
有形・無形固定資産	1,158	1,237	1,383	146
その他	751	835	936	101
資産の部 合計	4,595	5,335	4,832	- 503
営業負債	973	1,066	974	- 92
支払手形及び買掛金、電子記録債務	466	579	478	- 101
契約負債 (前受金)	507	487	496	9
有利子負債 (B)	869	914	742	- 172
借入金(リース債務を含む)	569	614	542	- 72
社債	300	300	200	- 100
その他	1,319	1,665	1,445	- 220
負債の部 合計	3,161	3,645	3,161	- 484
自己資本	1,377	1,627	1,608	- 19
非支配株主持分	57	63	63	- 0
純資産の部 合計	1,434	1,690	1,671	- 19
負債・純資産の部 合計	4,595	5,335	4,832	- 503
自己資本比率	30.0%	30.5%	33.3%	+2.8pt
ネット有利子負債 (B)-(A)	17	198	142	- 56

2024年度 第2四半期決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	82	353	271
投資活動によるキャッシュ・フロー	-166	-268	-102
財務活動によるキャッシュ・フロー	-38	-211 ^{*1}	-173
為替換算差額	23	10	-13
現金・現金同等物の増減額	-99	-116	-17
現金・現金同等物の期首残高	848	697	-151
新規連結に伴う現金・現金同等物の増減額	35 ^{*2}	-	-35
現金・現金同等物の期末残高	784	581	-203

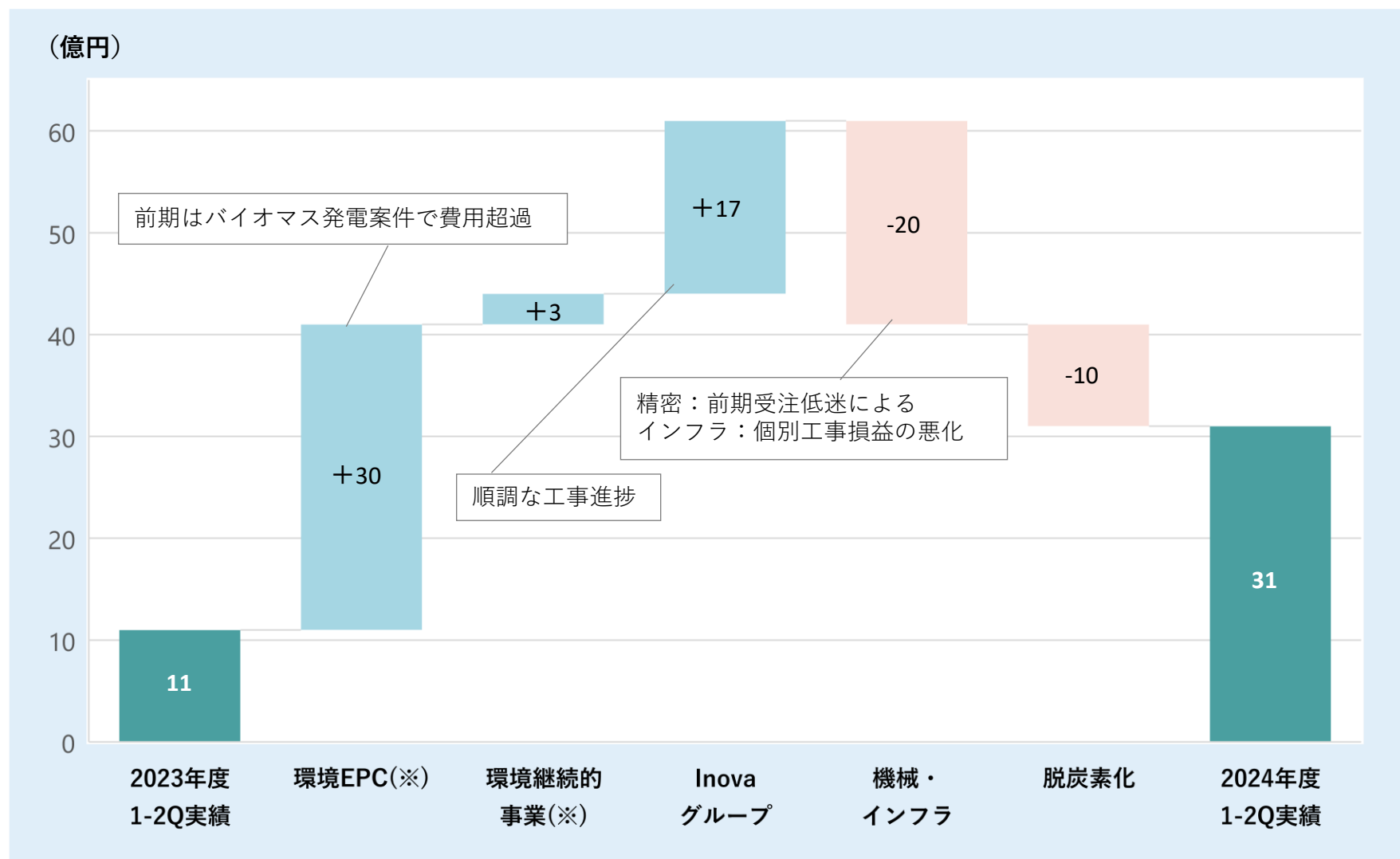
*1 借入金の返済：-67億円、社債の償還：-100億円、配当金の支払い：-38億円

*2 日立造船マリンエンジン（今治造船からの第三者割当増資）

2024年度 第2四半期決算 セグメント別 受注高・売上高・営業利益

(億円)	2023年度		2024年度				
	1-2Q	通期	1-2Q		通期見通し		
			実績 (a)	前期比	期初	今回 (b)	進捗率 (a)/(b)
受注高	3,467	7,151	2,848	-619	6,200	6,800	41.9%
■ 環境	2,700	5,588	2,299	-401	4,700	5,400	42.6%
■ 機械・インフラ	400	808	413	13	840	840	49.2%
■ 脱炭素化	357	726	121	-236	635	535	22.6%
■ その他	10	29	15	5	25	25	60.0%
売上高	2,321	5,558	2,699	378	5,700	5,900	45.7%
■ 環境	1,692	4,073	1,995	303	4,100	4,330	46.1%
■ 機械・インフラ	408	910	347	-61	830	800	43.4%
■ 脱炭素化	211	552	339	128	750	750	45.2%
■ その他	10	23	18	8	20	20	90.0%
営業利益	11	243	31	20	260	260	11.9%
■ 環境	5	191	55	50	220	240	22.9%
■ 機械・インフラ	7	30	-13	-20	24	9	—
■ 脱炭素化	-3	18	-13	-10	13	8	—
■ その他	2	4	2	0	3	3	66.7%

2024年度 第2四半期決算 営業利益 増減内訳



※Inovaグループを除く

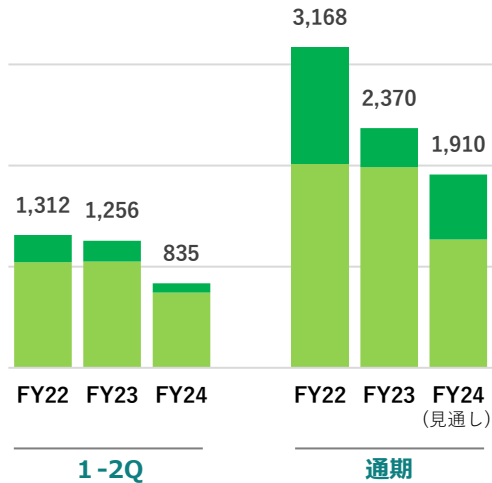
2024年度 業績見通し：環境事業（全体）

環境事業（全体）

(億円)	2023年度		2024年度				
	1-2Q	通期	1-2Q		通期見通し		
			実績	前期比	期初	今回	増減
受注高	2,700	5,588	2,299	-401	4,700	5,400	700
EPC	384	1,948	572	188	2,510	2,910	400
継続的事業	2,316	3,640	1,727	-589	2,190	2,490	300
売上高	1,692	4,073	1,995	303	4,100	4,330	230
EPC	1,057	2,325	1,172	115	2,150	2,260	110
継続的事業	635	1,748	823	188	1,950	2,070	120
営業利益	5	191	55	50	220	240	20
EPC	-8	15	41	49	39	73	34
継続的事業	13	176	14	1	181	167	-14

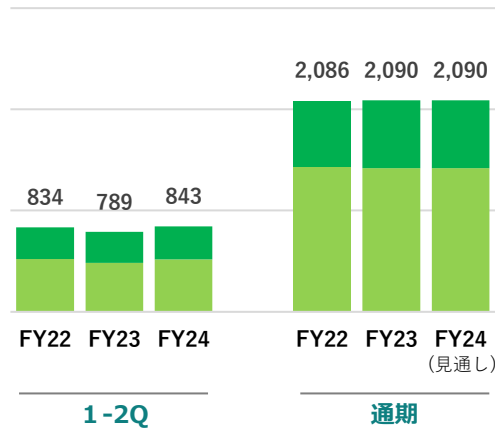
2024年度 業績見通し：環境事業（Inovaを除く）

受注高（億円）

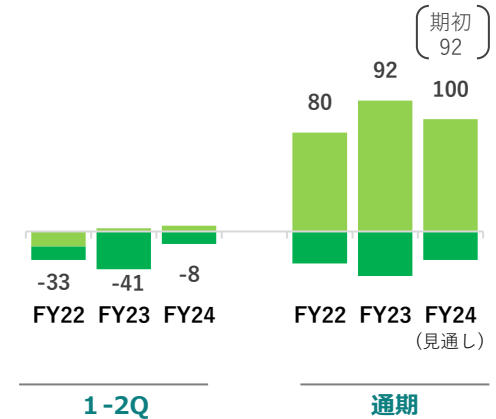


■EPC ■継続的事業

売上高（億円）



営業利益（億円）



※各グラフの数値は合計金額を示す。内訳は、次頁参照。

1-2Q実績（前年同期比）

受注高 835億円(-421)

- ・ 今期は基幹改良工事・運営案件の案件数が減少
- ・ EPCの受注は下期に集中

売上高 843億円(+54) / 営業利益 -8億円(+33)

- ・ 前期に受注した基幹改良工事が収益に寄与
- ・ EPCの利益改善（前期はバイオマス発電案件で費用超過発生）

通期見通し（期初公表比）

受注高 1,910億円(±0)

- ・ 期初見通しから変更なし

売上高 2,090億円(±0) / 営業利益 100億円(+8)

- ・ 継続的事業の利益改善を見込む

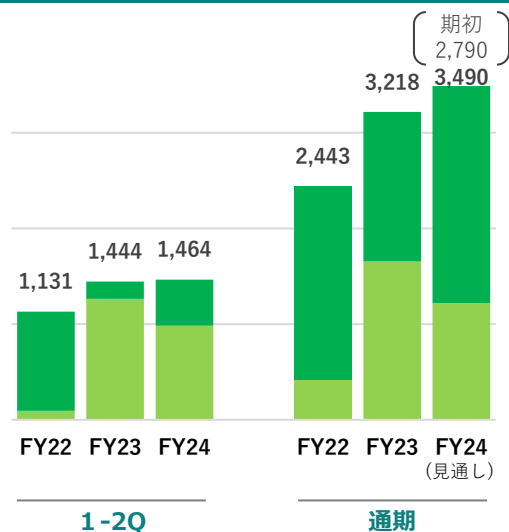
2024年度 業績見通し：環境事業（Inovaを除く）

■ 環境事業（Inovaを除く）

(億円)	2023年度		2024年度				
	1-2Q	通期	1-2Q		通期見通し		
			実績	前期比	期初	今回	増減
受注高	1,256	2,370	835	-421	1,910	1,910	0
EPC	205	386	92	-113	640	640	0
継続的事業	1,051	1,984	743	-308	1,270	1,270	0
売上高	789	2,090	843	54	2,090	2,090	0
EPC	305	671	326	21	590	670	80
継続的事業	484	1,419	517	33	1,500	1,420	-80
営業利益	-41	92	-8	33	92	100	8
EPC	-45	-64	-15	30	-34	-34	0
継続的事業	4	156	7	3	126	134	8

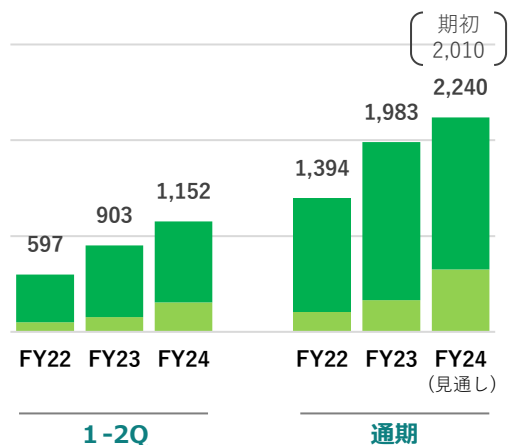
2024年度 業績見通し：環境事業（Inovaグループ）

受注高（億円）

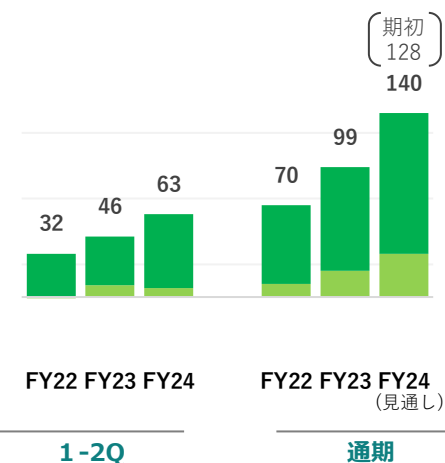


■ EPC ■ 継続的事業

売上高（億円）



営業利益（億円）



※各グラフの数値は合計金額を示す。内訳は、次頁参照。

1-2Q実績（前年同期比）

受注高 1,464億円(+20)

- 上期はAbu Dhabi (O&M)、Schwandorfを受注

売上高 1,152億円(+249) / 営業利益 63億円(+17)

- EPC：順調な工事進捗
- 継続的事業：Steinmüllerなど子会社の増収・増益、6月に買収したデンマークのA/S会社の収益を反映

※スイスフラン換算レート（前期2Q：158.72、今期2Q：172.44）

通期見通し（期初公表比）

受注高 3,490億円(+700)

- 為替レートの見直し
- 継続的事業：6月に買収したデンマークのA/S会社の受注を反映

売上高 2,240億円(+230) / 営業利益 140億円(+12)

- 為替レートの見直し
- EPC：新規案件の受注遅れによる減収を見込む
- 継続的事業：6月に買収したデンマークのA/S会社の収益を反映

※スイスフラン換算レート（期初：160、2Q：170）

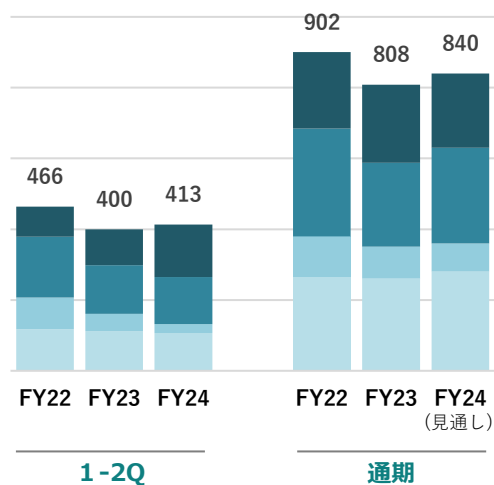
2024年度 業績見通し：環境事業（Inovaグループ）

■ 環境事業（Inovaグループ）

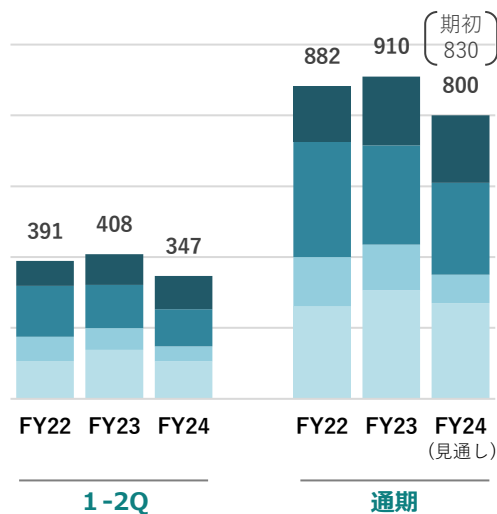
	2023年度		2024年度				
	1-2Q	通期	1-2Q		通期見通し		
			実績	前期比	期初	今回	増減
(億円)							
受注高	1,444	3,218	1,464	20	2,790	3,490	700
EPC	179	1,562	480	301	1,870	2,270	400
継続的事業	1,265	1,656	984	-281	920	1,220	300
売上高	903	1,983	1,152	249	2,010	2,240	230
EPC	752	1,654	846	94	1,560	1,590	30
継続的事業	151	329	306	155	450	650	200
営業利益	46	99	63	17	128	140	12
EPC	37	79	56	19	73	107	34
継続的事業	9	20	7	-2	55	33	-22
換算レート(CHF/JPY)	158.72	163.47	172.44		160.00	170.00	

2024年度 業績見通し：機械・インフラ事業

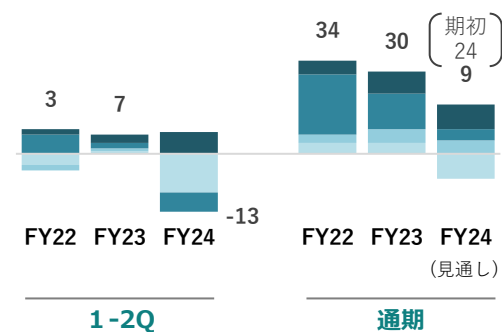
受注高（億円）



売上高（億円）



営業利益（億円）



※各グラフの数値は合計金額を示す。内訳は、次頁参照。

1-2Q実績（前年同期比）

受注高 413億円(+13)

- プレス：アフターサービス工事の受注が好調

売上高 347億円(-61) / 営業利益 -13億円(-20)

- 精密：前期の受注低迷などによる減収・減益
- インフラ：水門の個別工事損益の悪化

通期見通し（期初公表比）

受注高 840億円(±0)

- 期初見通しから変更なし

売上高 800億円(-30) / 営業利益 9億円(-15)

- 前期の精密の受注低迷、今期のインフラの工事損益の悪化により、売上高・営業利益を下方修正

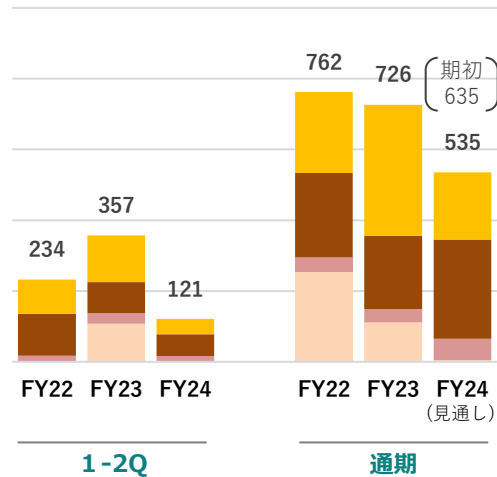
2024年度 業績見通し：機械・インフラ事業

■ 機械・インフラ事業

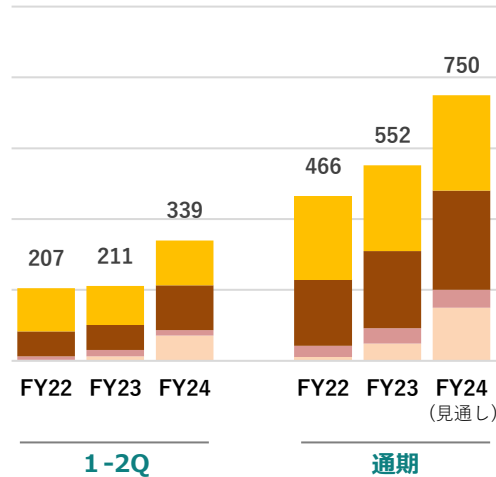
(億円)	2023年度		2024年度				
	1-2Q	通期	1-2Q		通期見通し		
			実績	前期比	期初	今回	増減
受注高	400	808	413	13	840	840	0
プレス	102	220	148	46	210	210	0
精密	137	237	133	-4	270	270	0
その他機械	49	91	25	-24	80	80	0
インフラ	112	260	107	-5	280	280	0
売上高	408	910	347	-61	830	800	-30
プレス	87	195	94	7	190	190	0
精密	122	280	105	-17	290	260	-30
その他機械	61	129	43	-18	80	80	0
インフラ	138	306	105	-33	270	270	0
営業利益	7	30	-13	-20	24	9	-15
プレス	3	8	8	5	7	9	2
精密	2	13	-7	-9	10	4	-6
その他機械	1	5	0	-1	5	5	0
インフラ	1	4	-14	-15	2	-9	-11

2024年度 業績見通し：脱炭素化事業

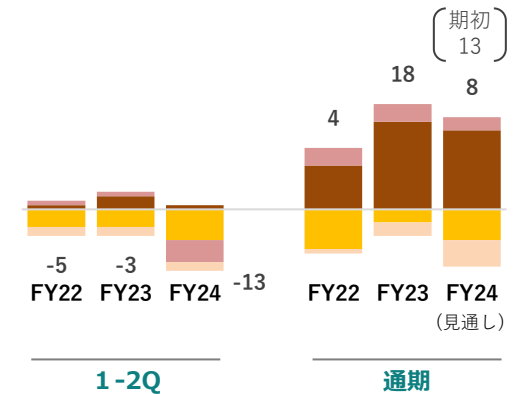
受注高（億円）



売上高（億円）



営業利益（億円）



■ エンジン ■ プロセス ■ 脱炭素化システム ■ 風力

※各グラフの数値は合計金額を示す。内訳は、次頁参照。

1-2Q実績（前年同期比）

受注高 121億円(-236)

- エンジン：受注活動抑制による影響
- 風力：前期は大口受注あり（陸上風力O&M）

売上高 339億円(+128) / 営業利益 -13億円(-10)

- エンジン：検査・工程見直しによる費用発生
- プロセス：売上高は主にNACの増収。
営業利益は国内の減益（前期に好採算案件）
- 脱炭素化：低受注による減収減益など。

通期見通し（期初公表比）

受注高 535億円(-100)

- エンジン：受注活動抑制により見通しを下方修正

売上高 750億円(±0) / 営業利益 8億円(-5)

- エンジン：検査・工程見直しによる費用発生に伴い、見通しを下方修正
- プロセス：工事収益の改善

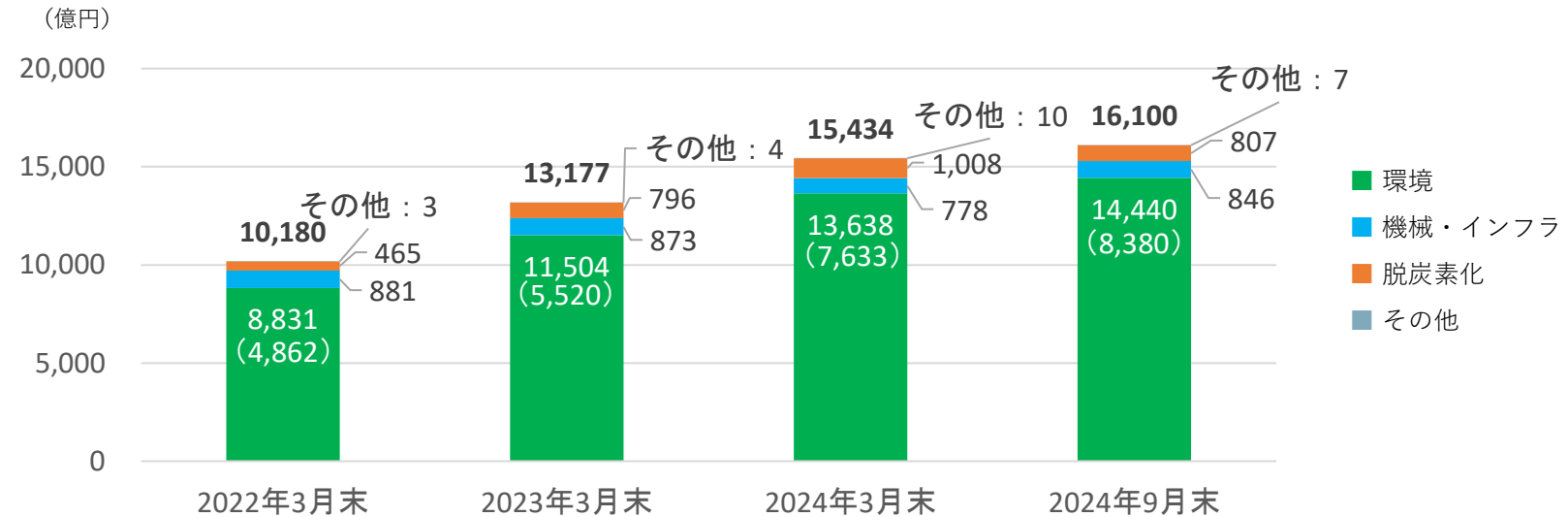
2024年度 業績見通し：脱炭素化事業

脱炭素化事業

(億円)	2023年度		2024年度				
	1-2Q	通期	1-2Q		通期見通し		
			実績	前期比	期初	今回	増減
受注高	357	726	121	-236	635	535	-100
エンジン	132	370	43	-89	290	190	-100
プロセス	88	207	62	-26	280	280	0
脱炭素化システム	29	38	15	-14	60	60	0
風力	108	111	1	-107	5	5	0
売上高	211	552	339	128	750	750	0
エンジン	110	242	126	16	270	270	0
プロセス	71	218	127	56	280	280	0
脱炭素化システム	18	44	15	-3	50	50	0
風力	12	48	71	59	150	150	0
営業利益	-3	18	-13	-10	13	8	-5
エンジン	-4	-3	-7	-3	1	-7	-8
プロセス	3	20	1	-2	15	18	3
脱炭素化システム	1	4	-5	-6	3	3	0
風力	-2	-3	-2	0	-6	-6	0

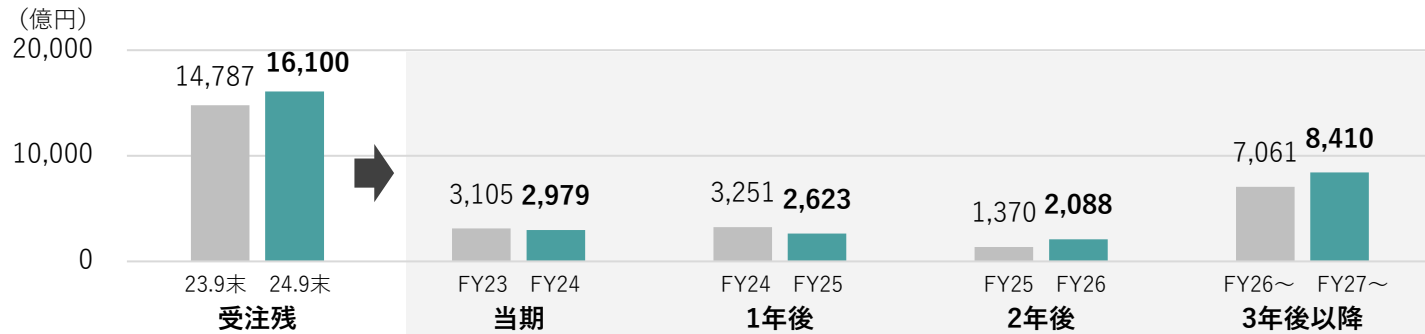
2024年度 第2四半期 受注残の推移・展開

受注残の推移



() 内は、環境に含まれる長期運営の受注残

受注残の年度別売上高展開



主要財務数値

(億円)

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し
総資産	4,611	4,796	5,335	5,900
現金及び預金	672	864	716	600
自己資本	1,313	1,396	1,627	1,767
自己資本比率	28.5%	29.1%	30.5%	29.9%
有利子負債	919	865	914	1,200
研究開発費	61	86	112	120
設備投資	80	79	96	130
減価償却費	107	105	111	115
ROE	6.1%	11.5%	12.6%	10.6%
ROIC	4.8%	6.2%	7.4%	7.0%

貸借対照表の項目は、各年度末の数字

経営・事業情報

2024年度 上期主要受注実績（国内・海外）

案件	場所	受注時期	内容	仕様など	納期、運営期間
Inova ごみ焼却発電 アブダビ O&M (Inova)	アラブ首長国連邦	24年6月	所掌：プラントの完成後の運営事業（30年間） 客先：Emirates Water and Electricity Company Tadweer Group	約2,700トン/日 (2炉) 80MW	運営：2027年～2057年
Inova ごみ焼却発電 シュバンドルフ (Steinmüller)	ドイツ	24年6月	所掌：EP（焼却・排ガス処理等の主要機器） 客先：シュバンドルフSPA 老朽化した既設のボイラーシステム（Steinmüller納入）を更新	1,050トン/日 (2炉) 約134MW	納期：2031年9月
Kanadevia ごみ焼却発電 キルギス	キルギス ビシュケク	24年9月	所掌：焼却炉に係る設計、機器供給、据付・ 試運転時の技術指導 客先：Junxin Huanbao KG Invest LLC	1,000トン/日 30MW	納期：2025年12月
Kanadevia 水門 フィリピン水門工事 (JV)	フィリピン マニラ	24年9月	パッシング・マリキナ川河川改修事業 フェーズIV 河川改修・マリキナ堰の製作・輸送・据付・ 試運転 等 東洋建設、IHIインフラ建設とのJVで受注/ ODA案件	水門ほか、 施工一式 寸法： 幅28.3m× 高さ9.55m	納期：2030年1月予定

環境事業主要プロジェクト（Inovaグループを除く）

	案件名	受注時期	完工	受注形態	当社所掌	暦年				
						2023	2024	2025	2026	2027
国内	新設									
	高崎市	2018年6月	2025年1月	単独	EPC					
	徳島津田バイオマス	2019年2月	2023年12月	JV	EPC+運転					
	神栖バイオマス	2019年10月	2023年9月	JV	EPC					
	道央	2019年11月	2024年7月	JV/単独	EPC/運営 ※1					
	長岡市	2020年3月	2024年3月	JV	BTO					
	宇城広域	2020年7月	2024年3月	JV	DBO					
	佐賀県東部	2020年8月	2024年3月	単独	DBO					
	清掃一組(江戸川)	2020年9月	2027年5月	JV	EPC					
	南薩地区	2021年2月	2024年8月	JV	DBO					
	能代山本	2021年11月	2026年3月	JV	DBO					
	枚方京田辺	2022年2月	2026年3月	JV	DBO					
	福山バイオマス	2022年2月	2025年4月	JV	EPC+運転					
	久喜市	2022年9月	2029年3月 ※2	JV	DBO					
	広島市	2022年12月	2028年9月	JV	DBO					
	大阪鶴見	2023年2月	2029年3月	JV	EPC+運転					
	東大阪	2023年2月	2031年3月	JV	EPC					
	岐阜羽島	2023年3月	2027年3月	JV	DBO					
	銚田大洗	2024年3月	2028年3月	JV	DBO					
	基幹改良工事									
	南河内環境事業組合	2022年8月	2025年2月	単独	基幹改良					
	豊田市	2022年9月	2027年2月	単独	基幹改良					
	熊本市	2022年9月	2025年3月	単独	基幹改良					
	有明広域行政事務組合	2022年12月	2026年3月	単独	基幹改良					
	西海岸衛生処理組合	2023年6月	2025年3月	単独	基幹改良					
	城南衛生管理組合	2023年6月	2028年2月	単独	基幹改良					
	北しりべし廃棄物処理広域連合	2023年7月	2027年2月	単独	基幹改良					
	熊本市	2023年9月	2027年3月	単独	基幹改良					
	奈良市	2023年12月	2027年3月	単独	基幹改良					
	大隅肝属広域事務組合	2024年5月	2028年2月	単独	基幹改良					
海外	中国・上海海浜	2019年7月	2024年12月	単独	EP+SV					
	インド・ビダーディ	2020年12月	2024年11月	コンソーシアム	EP+SV					
	台湾・彰化県	2021年7月	2025年7月	単独	EP+SV					
	インド・モシー	2021年9月	2024年10月	コンソーシアム	EP+SV					
	台湾・台南市	2023年2月	2026年2月	単独	EP+SV					

 設計・施工
 運転/長期運営

※1 EPC受注後、別途長期運営を単独で受注
 ※2 既存焼却炉の解体等を含めた工期

環境事業主要プロジェクト（Inovaグループ）

案件名（国）	受注時期	完工	受注形態	Inova所掌	暦年				
					2023	2024	2025	2026	2027
新設									
イヴリ(仏)	2018年11月	2025年3月	コンソーシアム	EP+SV	<div></div>				
モスクワ1-4(露)	2019年11月※1	2023年6月 ※2	コンソーシアム	EP+SV	<div></div>				
ロッキンガム(豪)	2020年1月	※3	コンソーシアム	EP+SV+O&M(長期)	<div></div>		(完工後O&M)		
ニューハースト(英国)	2020年2月	2023年5月完工	単独	EPC	<div></div>				
エンメンシュピッツ(スイス)	2020年2月	2025年10月	単独	EP+SV	<div></div>				
スラウ(英国)	2020年12月	2024年8月完工	単独	EPC+O&M(25年)※4	<div></div>	<div></div>			
ドバイ(UAE)	2021年6月	2024年8月完工	コンソーシアム	EP+SV+O&M(35年)	<div></div>	<div></div>			
スケルトン・グレンジ（英国）	2021年7月	2025年7月	単独	EPC	<div></div>				
ウエストフィールド(英国)	2021年12月	2025年4月	単独	EPC+O&M(25年)	<div></div>	<div></div>			
ノース・ロンドン（英国）	2022年4月	2026年10月	単独	EP	<div></div>				
リーベンホール（英国）	2022年5月	2026年3月	単独	EPC	<div></div>				
リバーサイド2（英国）	2023年1月	2026年8月	単独	EPC	<div></div>				
アールズ・ゲート（英国）	2023年6月	-	単独	O&M(25年)※5	<div></div>	<div></div>			
ウォルソール（英国）	2023年12月	2027年10月	単独	EPC	<div></div>	<div></div>			
アブダビ(UAE)	2024年3月 ※6	2027年6月	コンソーシアム	EP+SV+O&M(30年)	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>
基幹改良・Lot案件									
ルートヴィヒスハーフェン（ドイツ）	2019年7月	2024年12月	単独	EP+SV	<div></div>				
ヴァンター（フィンランド）	2022年10月	2025年7月	単独	EP+SV	<div></div>				
サウス・クライド（ドイツ）	2022年12月	2026年12月	単独	EP+SV	<div></div>				
モナコ	基本設計2023年2月 詳細設計2024年1月	2031年3月	コンソーシアム	EP+SV	<div></div>				
カッセル（ドイツ）	2023年7月	2025年10月	単独	EP+SV	<div></div>				
ハーゲンホルツ（スイス）	2023年9月	2027年3月	単独	EP+SV	<div></div>				
パドバ（イタリア）	2023年10月	2027年2月	コンソーシアム	EP	<div></div>				
ダルムシュタット（ドイツ）	2024年1月	2028年8月	単独	EP+SV	<div></div>				
シュバンドルフ（ドイツ）	2024年6月	2031年9月	単独	EP	<div></div>				

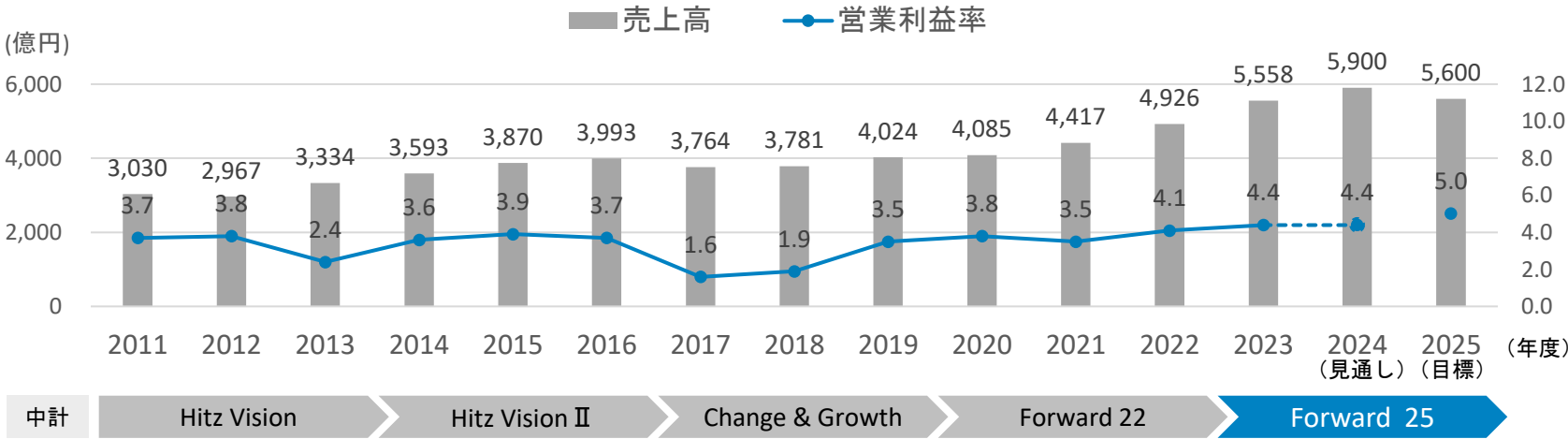
■ 設計・施工
■ 完工後O&M

- ※1 モスクワ1は2019年度、モスクワ2-4は2020年度の受注
 ※2 大幅遅延見込み
 ※3 コロナ影響による現地工事遅れ等により、客先と調整中（契約納期 2022年12月）
 ※4 完工後、25年間のO&Mを追加で受注
 ※5 2023年12月から25年間のO&M（他社建設施設）
 ※6 O&Mは2024年6月受注

中期経営計画「Forward 25」の目標と進捗

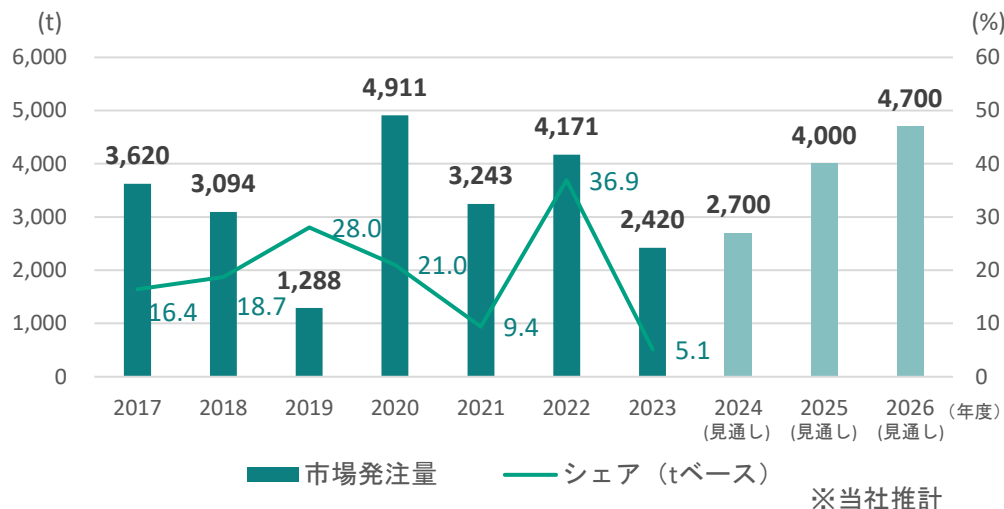
(億円)

	2023年度 実績	2024年度 見通し	2025年度 中計目標
受注高	7,151	6,800	6,000
売上高	5,558	5,900	5,600
営業利益 (利益率)	243 (4.4%)	260 (4.4%)	280 (5.0%)



事業別の状況：環境事業（Inovaグループを除く）

国内ごみ焼却発電：市場発注量と当社シェア



循環型社会・脱炭素化に資する技術開発

廃棄物処理分野

- ・ 清掃工場から回収したCO₂の資源化
- ・ CO₂ 高濃度化廃棄物燃焼技術（GI基金事業）

水処理分野

- ・ 下水処理場における N₂O 排出量削減
- ・ 下水污泥焼却分野でのストーク式焼却炉の活用
- ・ 下水污泥ガス化による水素製造
- ・ 下水污泥消化ガスのバイオメタネーション反応技術に関する調査事業（Kanadevia Inova Schmackの技術を活用）

ごみ焼却発電施設

- 市場規模（発注量）は年間2,500-5,000 t/日で推移し、2024年度は3,000 t/日弱と予測
- 今年度の国内EPC受注予定は下期に集中
- 長期的には、国内需要の成長が見込まれない中：
 - 産業廃棄物分野への事業領域拡大も視野に（23年5月のTREホールディングスとの業務提携）
 - 技術イノベーションへの継続的取り組み

水事業

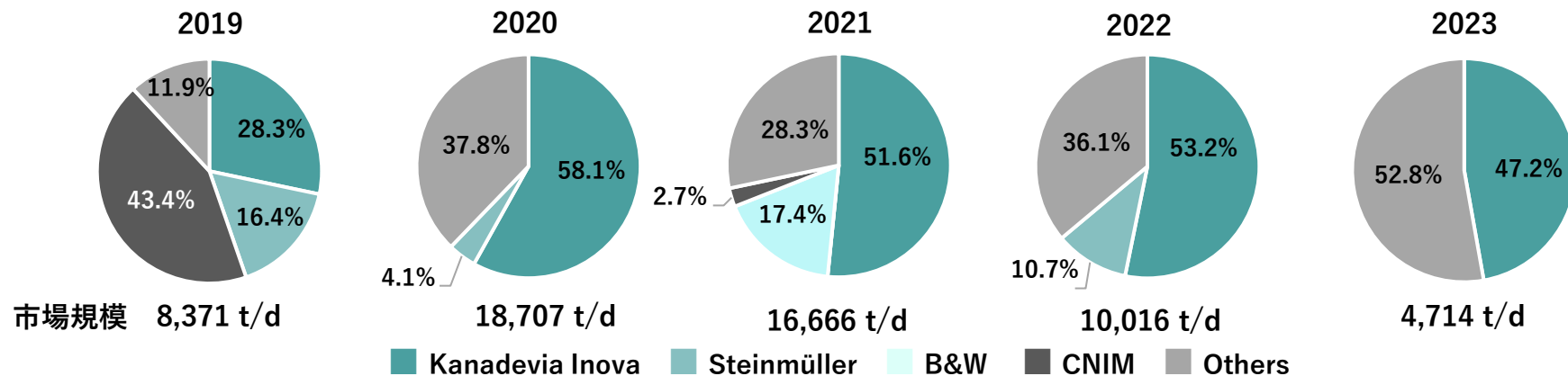
- 国内市場は成熟、横ばい
- 世界の水処理・廃水処理市場は継続して高い需要が見込まれ、グローバル戦略を検討中

売電事業

- 2024年度上期は電力の市場価格が安定的に推移
- 引き続き需給バランスを維持して安定した事業運営をめざす

事業別の状況：環境事業（Inovaグループ）

WtEプラントの処理量ベースの新規受注の市場シェア（欧州・中東市場）



出典：A. Vaccani & Partner 社 調査レポート / Roland Berger社レポート

ごみ焼却発電施設

- 欧州・中東市場では2010年代後半からの淘汰により、当社グループの新設受注シェアは50%前後に
- 2023年は新規発注量が半減したが、新規プロジェクトの検討が継続
- 英国・EU圏における安定的な需要の継続
- サウジアラビア等、中東における需要の顕在化
- 今期の大型プラント受注時期は、下期に集中するも年間受注予算は達成見込み

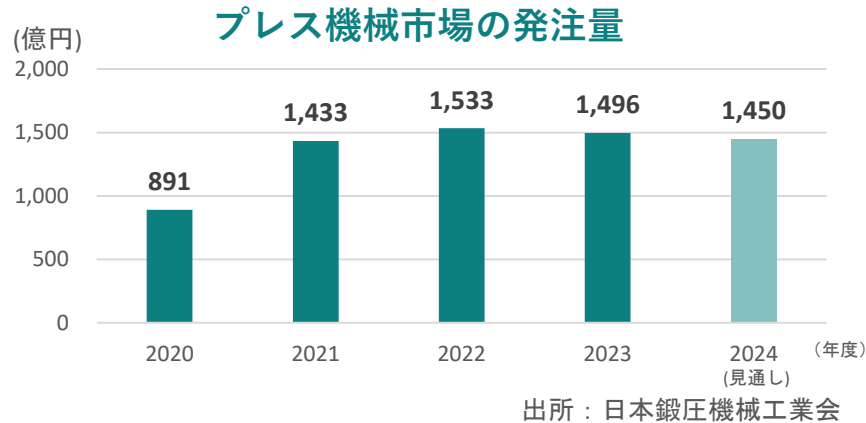
リニューアブルガス事業

- 欧州での自社所有バイオガスプラントへの投資
 - 自社による事業開発は継続中（イタリア等）
 - M&Aによる既存資産の取得、価値向上も検討

サービス（O&M）事業

- Babcock & Wilcoxからアフターサービス事業会社（本社：デンマーク）を買収し、事業基盤を拡大
- ボイラーサービス会社EST Industries（フランス）への出資を40%から60%に引上げ、連結子会社化

事業別の状況：機械・インフラ事業



TANGENT Kanadevia

プレス

- 2024年度のプレス機械市場の発注予想量は、約1,450億円と若干引下げ（出所:日本鍛圧機械工業会）
- 当社グループでは、既存製品の延命化などの顧客ニーズの変化によりアフターサービス需要が増加
- 上期の利益は、操業前倒し等により高水準

精密機械、システム機械

- 真空バルブ：主力半導体製造装置メーカーの余剰在庫消化が完了、受注は増加傾向。当社グループの2Q受注は計画通り進捗、年間では前期比+56%の回復を見込む

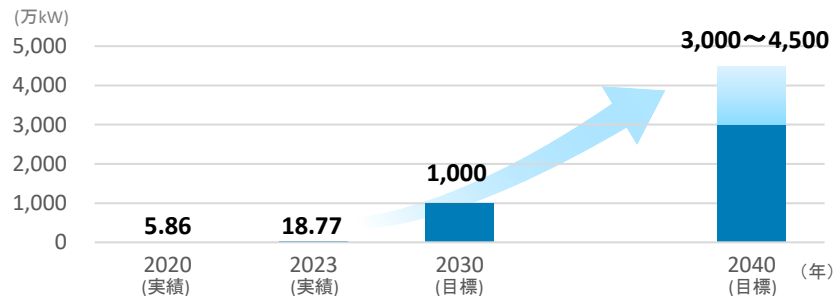
インフラ

- 水門：国内市場は国土強靱化・脱炭素化を背景に、水力発電所のリプレース案件が増加。当社受注は、仮締切などの技術を活かした早期アプローチにより順調に推移。
- 海外では、23年10月に設立した合弁TANGENT Kanadeviaを活用し、東南アジアの水門需要、ODA案件等に対応していく（フィリピンのパッシング・マリキナ川河川改修事業等）

事業別の状況：脱炭素化事業

日本政府の洋上風力発電導入目標

2030年までに1,000万kW、2040年までに浮体式も含む3,000万kW～4,500万kWの案件を形成する



出所：「洋上風力産業ビジョン」（2020年、官民協議会）および日本風力発電協会統計より当社作成

浮体式洋上風力実証事業（フェーズ2）実証海域



<設置イメージ図>



エンジン

- 不適切行為に対する是正措置と信頼回復に注力
- 資材価格の高騰や円安の影響により、収益面に課題
- 燃料転換は、LNG、メタノール、アンモニアと段階的に進む見通し⇒対応エンジンの開発・設備投資

プロセス

- 国内は代替燃料利用やCCSの検討が進み、貯蔵・輸送タンクの需要が高まる見通し
- 米国では乾式貯蔵キャスクの需要が堅調
- M&Aによる拡大（カナダ市場、低レベル放射性廃棄物市場等）

脱炭素化システム

- 国の水素基本戦略を受けて、水素発生装置の量産化を計画
- Inova、Osmofloと共同でオマーンでのメタネーションの事業化に取り組み

風力

- 日本政府の洋上風力発電導入目標：2030年までに1,000万kW、2040年までに3,000万kW～4,500万kW
- NEDOの浮体式洋上風力発電実証事業（GI基金事業フェーズ2）に採択、愛知県沖でセミサブ型浮体式基礎を使用した実証事業

Inovaグループにおける海外継続的事業の拡大

Babcock & Wilcox Renewable Service (BWRS) の買収

Kanadevia Inova Denmark A/S (新社名)

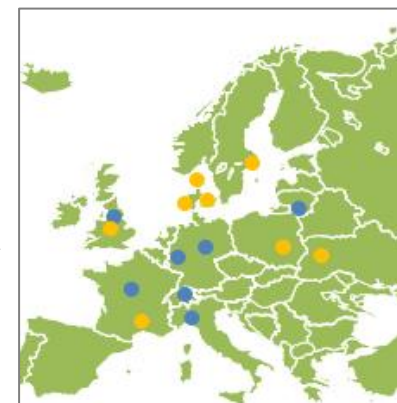
所在地： デンマーク ホルステッド

設立： 2021年

従業員数： 160人以上

- ❑ 北欧はWtEプラントの老朽化が進み、サービス事業の需要拡大が見込まれる
- ❑ BWRSはWtEプラントなどのアフターサービス・メンテナンスを手掛け、北欧で高いシェア
- ❑ Inovaの既存サービス拠点とあわせて、欧州全体でアフターサービス事業を展開

- Inovaのサービス拠点
- BWRSのサービス拠点

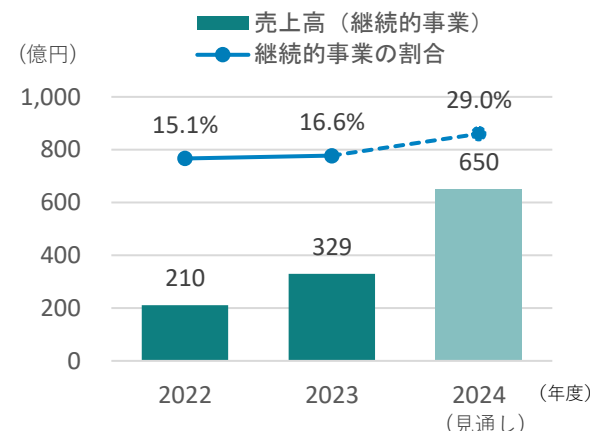


M&Aを通じた継続的事業の拡大

時期	会社名	国	事業内容
2014年12月	Kraftwerkstechnik	独	WtE メンテナンス
2020年4月	ESTI	仏	WtE メンテナンス
2020年4月	NCIS	仏	スペアパーツ製造
2022年2月	Steinmüller	独	WtE
2022年4月	EST Industries	仏	ボイラーサービス
2024年6月	BWRS	デンマーク	WtE メンテナンス

- ❑ 欧州全域でのサービス拠点網の整備
- ❑ 豊富なEPC実績（買収先の実績含む）
- ❑ 小型案件での競争力強化
- ❑ 技術補完、人的リソースの拡充

Inovaの継続的事業の売上高及び全体に占める割合



2024年度完工案件（海外WtE）

Dubai



建設地： ドバイ酋長国 ワルサン地区
発注者： Warsan Waste Management Company
（旧社名：Dubai Waste Management Company）
所掌： EP+SV、O&M（35年間）
工期： 2021年4月～2024年8月
処理能力： 約5,700t/日（5炉）

- UAE初かつ世界最大級のWtEプラント
- プロジェクト開発に初期段階から参画、伊藤忠商事、現地側等と共同でSPCを設立
- JBIC（国際協力銀行）とNEXI（日本貿易保険）によるファイナンス支援

Slough



建設地： 英国バークシャー州 スラウ
発注者： SSE Slough Multifuel Limited
所掌： EPC、O&M（25年間）
工期： 2020年12月～2024年8月
処理能力： 約1,440t/日（2炉）

- 英国・アイルランドでは建設中含めて20件のプロジェクトを受注し、本件は14件目
- 英電力大手のSSEから3件目の受注（共同事業含む）
- 周辺に既存建物が隣接する難易度の高い工事ながら、予定より3か月前倒しで完工
- Inovaとして4件目の長期運営も受注

循環型社会の実現に向けた取り組み

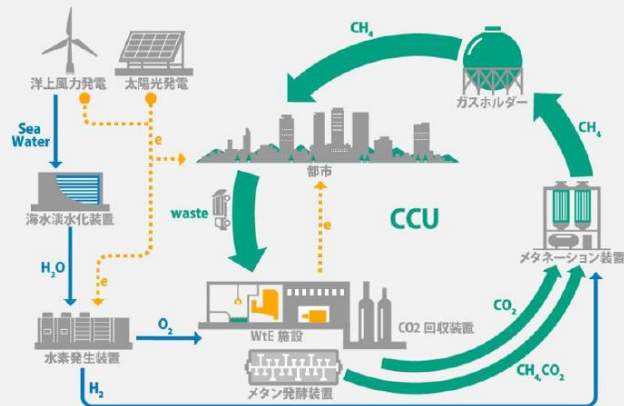
COP29に参加

時期： 2024年11月11日（月）～22日（金）

場所： アゼルバイジャン共和国 バクー・オリンピックスタジアム

ジャパン・パビリオンでの展示

- ・ 環境省の「ジャパン・パビリオン」に出展
- ・ 当社が保有する様々な廃棄物処理技術を紹介



展示モデルフロー

関連セミナーへの登壇

セミナータイトル

「循環経済の実現に向けた廃棄物・資源分野における脱炭素技術」

主催者名 一般社団法人日本環境衛生施設工業会（JEFMA）

実施日 2024年11月20日（水） 10:30 - 11:45（現地時間）

当社登壇者 桑原 道 社長兼COO

登壇内容 多様な廃棄物処理技術とCCUSで実現する資源循環

ZOOM Webinar 用 URL :

<https://us06web.zoom.us/j/81262163590?pwd=oEatDxHagly4nLZ7QbF3mmPBqNC1yh.1>

TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）への対応

- ・ 2023年12月にTNFDの提言への賛同を表明
- ・ 2024年10月に「TNFDレポート2024」を発行
「TNFDレポート 2024」URL : https://www.kanadevia.com/ir/data/pdf/tnfd2024_J.pdf



(ご参考) リンク集

□ 統合報告書2024

<https://www.kanadevia.com/ir/data/annual.html>



□ 中期経営計画「Forward 25」

https://www.kanadevia.com/ir/policy/pdf/2023tukei_Forward25_Jn.pdf



□ コーポレートサイト「サステナビリティ」

<https://www.kanadevia.com/sustainability/>



□ YouTube Kanadevia Group Channel

<https://www.youtube.com/@KanadeviaGroupChannel/featured>





（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。